



山の上は、太陽に近いのになぜ寒いのか

空気の圧力によって、気温がちがう

地球のまわりは、空気でおおわれています。この空気を、大気とよんでいます。大気は上空へいくほど空気の量が少なくなり、うすくなります。

地球は、まわりの空気でおしつけられています。地球をとりまく空気が、海の水だとすると、わたしたちは、空気の海の底にいることになります。空気が地球をおす力を空気の圧力、または、気圧といいます。

空気の圧力は、上空ほど低くなっています。空気には、圧力が低くなると、温度が下がるという性質があります。それで、地上よりも、高い山のほうが気温が低いのです。

太陽は、直接、空気を暖めない

太陽の熱は、直接、空気を暖めないで、地面を暖めます。暖められた地面は、近くの空気を暖め、じょじょに、地面からはなれた空気も暖めていきます。

つまり、空気は、地面に近いほうから暖まっていくので、上空にいくほど地面からの熱が伝わらず、気温が低くなります。

富士山の頂上の気温

ふつう、気温は土地が高くなると、だんだん下がってきます。富士山のふもとの気温が30のときに、3776メートルの頂上の気温が、7～10のときがあります。

(監修・村山 貢司)

